
施工要領書

内装用消石灰系仕上げ塗材

Hip 漆喰コテ用

株式会社カラーワークス

作成：2005年 3月

改訂：2024年 2月

目次

【製品の特長】	- 3 -
【用途】	- 3 -
【適用下地】	- 4 -
【荷姿】	- 4 -
【施工道具】	- 4 -
【塗装前の下地処理】	- 5 -
【塗装要領】	- 7 -
【注意事項】【成分】	- 8 -
【標準施工仕様】	- 10 -

【製品の特長】

漆喰とは、石灰石(CaCO₃)を焼いた生石灰(CaO)に水を加えて製造した消石灰(Ca(OH)₂)に水や海草糊、スサ等を加えて作ります。

主原料である消石灰が空気中の二酸化炭素と反応して硬化し、時間の経過と共に硬い石灰石に戻る性質を利用して、古くから壁材として利用されてきました。

Hip 漆喰コテ用には以下のような特長があります。

1. 作業性

従来の漆喰壁は、現場にて左官職人が材料を調合し、コテで仕上げていました。

Hip 漆喰コテ用は出荷段階で全ての材料を調合している為、攪拌後すぐに使用することが可能です。

施工には、コテを使用します。

2. 調湿性

主原料である消石灰により塗膜が多孔質となりますので、湿気の吸放出性に優れ、室内の結露防止にも効果があります。

3. 耐火性

従来の漆喰壁と同様に耐火性に優れています。

4. シックハウス症候群への対応と漆喰の機能性

Hip 漆喰コテ用は消石灰を主原料としています。

消石灰は強アルカリ性のため、カビやダニの発生を抑えます。(鳥インフルエンザや口蹄疫発生の際に消毒・殺菌用として使用されています。)

また、室内のVOC(揮発性有機化合物)を吸着・分解し、消臭・脱臭効果があります。

【用途】

内装用仕上げ塗材

※ 浴室・水回りへの塗装は避けて下さい。水が塗装面にかかると変色します。

【適用下地】

石膏ボード、コンクリート、セメントモルタル、合成樹脂ペイントなど

- ※ クロスを剥がした上に塗装する場合は、クロスの裏紙まで剥がして下さい。
- ※ 木部（ベニヤ板など）はアクがでる為、塗布できません。

【荷姿】

仕上げ材「**Hip 漆喰コテ用**」（㎡数は2mm厚を目安とした値です）

4 kg（ペール缶）・・・・・・・・約 2～3 ㎡／缶

10 kg（ペール缶）・・・・・・・・約 5～6 ㎡／缶

- ※ 製品は既調合です。
- ※ 開封後はよく攪拌して使用して下さい。攪拌不足のまま塗装すると色ムラになる可能性があります。

【施工道具】

1. コテ 金コテに慣れていない方はプラスチックコテをご使用ください。金コテを使う場合は使用后すぐに洗浄してください。（錆が発生します）

- ※ 施工道具は使用后直ちに水で洗浄して下さい。乾燥すると塗料が取れにくくなります。

【塗装前の下地処理】

Hip 漆喰コテ用は、下地の状態が仕上がりに影響します。

塗装前には下地の状態を良く確認し、適切な下地調整を行って下さい。

1. 養生

塗装の境界部分等はマスキングテープでマスキングして下さい。

特に木部に塗料が付着した場合、木の材質によっては変色する場合があります。

2. 下地の清掃

下地に付着している埃、油脂類等は良く除去して下さい。除去しないと塗膜が剥がれ落ちる可能性があります。

3. 下地の乾燥

下地は十分に乾燥させて下さい。

冬期には下地が凍結している場合があります、凍結している下地に施工すると接着不良を起こす恐れがあります。必ず施工前には凍結が無いことを確認して下さい。

4. 下地の処理

下地の種類によっては表面状態、表面強度、吸込み度合が異なります。これらの下地に対する調整を誤ると、塗膜の剥がれ・クラック・色ムラ等を生じる可能性がありますので、塗装前の下地処理は十分に行って下さい。

a) 石膏ボード

石膏ボードのジョイント部は適切な処理を行わないと、塗装後にクラック発生の原因となります。④

① 石膏ボードのジョイント部は所定のピッチで、ネジまたは釘で胴縁にしっかりと固定して下さい。

② ジョイント部には図1.のように必ず4~6 mmの大きめのテーパを取って下さい。図2.のようなテーパのないジョイントは避けて下さい。

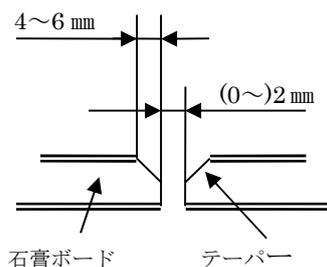


図1.

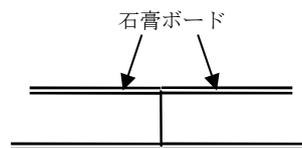


図2.

- ③ テーパーを取るとジョイント部に石膏面が露出します。石膏はパテとの接着性が非常に弱く、クラックの原因となります。石膏とパテとの接着性を高める為に、効果のあるシーラーを筆（もしくは刷毛）で塗って下さい。
- ④ ジョイント部のパテは無機系の物を使用して下さい。樹脂系のパテは、塗膜の隠ぺい不足やクラック発生の原因となる場合がありますので、使用しないで下さい。

※ パテの材質によっては **Hip 漆喰コテ用**の塗膜にパテのアクが浮き出る場合があります。懸念される場合は、アク止め処理を行って下さい。

※ 推奨パテ：宇部吉野石膏㈱製

タイガージョイントセメント ペーストタイプ

- ⑤ パテは目地幅より広めに塗って下さい。
- ⑥ パテ部にヤセやクラックが発生していないことを確認し、グラインダーやサンドペーパー等で研磨して下さい。その際、図3.のように僅かにパテ厚を残して下さい。図4.のように研磨しすぎると、**Hip 漆喰コテ用**を塗装した際、塗装ムラの原因となる場合があります。

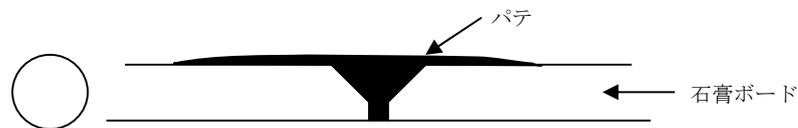


図3.

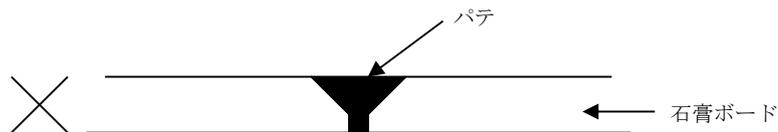


図4.

b) コンクリート及びモルタル

よく乾燥していることを確認して下さい。

エフロ、レイタンス、ゴミ、汚れ等はワイヤーブラシ、サンドペーパー等で除去して下さい。

打継ぎの段差、目違い、異物の突起、セメントかす等はサンダーで平滑にして下さい。

ピンホールやクラックがある場合は補修して下さい。

c) 合成樹脂ペイント

汚れをしっかりと落として下さい。特に油分、油膜があると **Hip 漆喰コテ用**の接着性が劣ります。

タバコのヤニ等は **Hip 漆喰コテ用**の塗膜に浮き出てくる可能性があります。その場合はアク止め処理を行って下さい。

注) シーラー処理について

Hip 漆喰コテ用を塗装する場合、吸い込み防止用の水性カチオンシーラーを塗布してから **Hip 漆喰コテ用**を塗装して下さい。シーラーを使わず直接 **Hip 漆喰コテ用**を塗ると、吸込みムラや塗装ムラになる可能性が高くなります。

また、主原料が古来の漆喰と同様消石灰であることにより、特性上乾燥収縮が起きやすく①、ジョイント部やコーナー部に軽微なクラックが入る場合がありますのでご了承下さい。

※推奨水性カチオンシーラー メーカー(株)MKマルチシーラーNANO

- ① **Hip 漆喰コテ用**は、塗布後乾燥していくにつれて空気中の二酸化炭素と反応し、原料の石灰石に戻っていく性質があります。

【塗装要領】

Hip 漆喰コテ用は、合成樹脂エマルジョンペイントと異なり、消石灰などの粒子が主原料です。このため、塗膜の重なり部分がムラとなりやすく、塗膜は多孔質になる為吸水性が大きいので、塗り重ねる場合には塗りにくくなります。以下には、塗装する場合の留意点について説明します。

1. 同一面の塗装

区画された同一面は、休まずに塗装して下さい。

途切れると、その部分が塗膜厚さのムラになります。

2. 水による希釈

Hip 漆喰コテ用は製造段階で水分量が調整されています。水による希釈は行わないでください。

注) 塗装前と塗装後の色の違いについて

塗装前と塗装後（乾燥後）は色が違います。塗装後の方が色が薄くなります。

注) 白化・白華現象について

Hip 漆喰コテ用の塗膜に触れると白い粉が付くことがあります。

これは漆喰の「白(はっ)華(か)」という現象で、漆喰の乾燥途中で水分が蒸発しきれずにずっと残り、水に溶けた石灰分が表面に出てきた現象です。冬場や梅雨時に起きやすく、乾燥不良が主な要因です。

【注意事項】

1. 製品の取扱について

- ① 凍結の恐れのある場所での保存、使用は避けて下さい。
- ② 子供の手の届かない場所に保管して下さい。
- ③ 開封後はできるだけ早く使い切ることをお勧めします。
- ④ 施工の際には、保護手袋・保護メガネ・保護マスクを着用し、塗料が皮膚に触れないよう注意して下さい。
- ⑤ 皮膚に付着した際には、水でよく洗い流し、痛みや外傷等が生じた場合には医師の診断を受けて下さい。
- ⑥ 誤って目に入った場合は、水でよく洗い流し、医師の診断を受けて下さい。
- ⑦ 誤飲しないよう注意して下さい。
- ⑧ 詳しくは、安全データシート（SDS）をご参照下さい。

2. 気象条件

- ① 炎天下での施工は、塗装ムラの原因となりますので避けて下さい。
- ② 夜間気温が0℃以下になることが予想される場合は、できるだけ日中の早い時期に施工を終了させ、乾燥時間が取れるようにして下さい。
また、気温が5℃以下での施工はお勧めしません。乾燥の遅れによる色ムラや白華の恐れがあります。
湿度が高い日の施工もお勧めしません。特に入隅など空気の流れが悪い場所は乾燥が遅れて色ムラになる場合があります。
- ③ 気温 15~30℃、湿度 40~65%が最適です。
- ④ 施工時、施工後は窓を開ける、サーキュレーターをまわすなどして、換気を促して

下さい。(ただし、ドライヤーなどで強制乾燥することは避けて下さい。急激な乾燥により表面にクラックが起きる場合があります。)

【成分】

消石灰、炭酸カルシウム、寒水石、メチルセルロース、顔料、水

*Hip 漆喰コテ用にはアクリル・酢酸ビニール系の樹脂が入っておりません。

【標準施工仕様】

工程	標準使用量 (g / m ²)	標準膜厚 (mm)	塗布回数 (回)	備考
下地処理	<ul style="list-style-type: none"> ・付着物は完全に除去し、傷、不陸、目違い等は補修調整して下さい。 ・下地はよく乾燥させて下さい。 			
ジョイント処理	<ul style="list-style-type: none"> ・ジョイント部にクラックが入らないよう適切な処理を行って下さい。 ・パテ処理を行った場合、最終的にパテにクラックが入っていないことを確認して下さい。 			
Hip 漆喰コテ用 1 回目塗装	1600～ 2000	2	1	

※ **Hip 漆喰コテ用**を急激に乾燥させるとひび割れ、塗膜の剥離等の原因となりますので避けて下さい。